■三島由紀夫　　**小説家。〈敗戦〉後の日本を代表する世界的な作家となり，劇的な最期を遂げて後世に影響を及ぼした。**
みしまゆきお
治安維持法・1925＝　　東京四谷で，維新の官僚や華族につながる名門の農林省官吏の長男に生まれる。

幼時は祖母の溺愛を受けて育つ。

満州事変・・1931＝ 6歳：学習院初等科に入る。

帝人疑獄事件1934**＝ 9歳：**

日中戦争始・1937＝12歳：初等科を卒業，中等科に進学。**_学習院の｛輔仁会雑誌｝に毎年習作を発表し始める。**

第二次大戦始1939＝14歳：祖母が死去。

日米開戦・・1941＝16歳：**_三島由紀夫のペンネームを用い出す。**
・・・・・・1942＝17歳：中等科を卒業，高等科の文科に進学。
創価学会検挙1943**＝18歳：**
年金+総武装 1944＝19歳：高等科を首席で卒業。東大法学部に入学。勤労動員で工場へ。**_処女小説集「花ざかりの森」を刊行。**
敗戦・・・・1945＝20歳：**_徴兵を誤診によって免れて敗戦を迎えるが，敗戦を何ものかの喪失と感じた時代感覚は，その直後の妹の急死もあって，のちの三島の思想の根幹を形づくる。**
新憲法公布・1946＝21歳：**＊初めて川端康成を訪ね，その推薦で「煙草」を発表して文壇に登場。**
新憲法施行・1947＝22歳：「岬にての物語」を刊行。東大法学部を卒業，高等文官試験に合格して，大蔵省に勤務するが，
極東裁判決・1948＝23歳：創作に専念すべく退職。「盗賊」「夜の仕度」刊行。
三大事件・・1949＝24歳：「宝石売買」「魔群の通過」。**＊「仮面の告白」を刊行して作家としての地位を確立。**
朝鮮戦争始・1950＝25歳：つづいて長編小説「愛の渇き」「青の時代」を刊行。後者は当時話題になった金融業の学生社長をモデルにしたもので，反社会的な情熱が作品の主題になる。「純白の夜」。
独立回復・・1951＝26歳：「禁色」「聖女」「遠乗会」「夏子の冒険」，評論集「狩と獲物」。**_朝日新聞特派員として世界一周に出，**
ﾒｰﾃﾞｰ事件・ 1952**＝27歳：_途中のギリシア訪問を契機に，ギリシア的な健康への希求が生まれるて，帰国。「アポロの杯」**
TV放送始・・1953＝28歳：「真夏の死」「にっぽん製」「夜の向日葵」。謡曲「綾の鼓」。**_「禁色」の第2部「秘楽」にも同様な傾向が認められる。「三島由紀夫作品集」刊行。**
自衛隊発足・1954＝29歳：「恋の都」「鍵のかかる部屋」「文学的人生論」。**_ギリシア的な健康への希求は牧歌的な小説「潮騒」にも結実し，第1回新潮社文学賞を受賞。**
55年体制始・1955＝30歳：「沈める滝」「女神」「ラディゲの死」「小説家の休暇」。**_ボディビルの練習開始。岸田演劇賞を受賞。**
国連加盟・・1956＝31歳：「幸福号出帆」「白蟻の巣」「詩を書く少年」「永すぎた春」。「近代能楽集」。**_「金閣寺」で芸術的な一つの到達点をきわめた。「潮騒」が英訳，以後外国語への翻訳が多数行われる。**
なべ底不況・1957＝32歳：戯曲「鹿鳴館」。「美徳のよろめき」「現代小説は古典たりうるか」。「三島由紀夫選集」刊行開始。**_「金閣寺」により読売文学賞。**
ｲﾝｽﾀﾝﾄﾗｰﾒﾝ・1958＝33歳：「橋づくし」「旅の絵本」「薔薇と海賊」。画家杉山寧の長女瑶子と結婚。「金閣寺」が映画化。
美智子妃・・1959＝34歳：「不道徳教育講座」「文章読本」「裸体と衣裳」。長女誕生。**_剣道の練習開始。「鏡子の家」で"戦後"という時代のニヒリズムと行為をえがいた。**
安保闘争・・1960＝35歳：映画に出演。「宴のあと」「お嬢さん」
ｲﾀｲｲﾀｲ病始・1961**＝36歳：**「スタア」「獣の戯れ」「美の襲撃」。**_「宴のあと」が訴訟問題。60年安保のあと二・二六事件に取材した「憂国」にいたって"戦前"的なものが作品に入りはじめる。**
全国総合計画1962＝37歳：長男誕生。「三島由紀夫戯曲全集」刊行。「美しい星」。
TV宇宙中継始1963＝38歳：「林房雄論」。「愛の疾走」「午後の曳航」「剣」。限定写真集「薔薇刑」。文学座と作品でもめて脱退。
東京ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ 1964＝39歳：「肉体の学校」「私の遍歴時代」「絹と明察」ほか。「三島由紀夫短編全集」「三島由紀夫自選集」。
大学紛争始・1965＝40歳：「音楽」「三熊野詣」ほか。**_「絹と明察」により毎日芸術賞。戯曲「サド侯爵夫人」。「豊饒の海」第1巻。**
いざなぎ景気1966＝41歳：「反貞女大学」「聖セバスチャンの殉教」。「三島由紀夫評論全集」。**_「サド侯爵夫人」により芸術祭賞。「宴のあと」問題が和解により決着。"戦前"的な傾向の「英霊の声」。**
美濃部都知事1967＝42歳：「荒野より」「葉隠入門」「朱雀家の滅亡」。**_「豊饒の海」第2巻。自衛隊に体験入隊，戦闘機にも試乗。**
霞ヶ関ﾋﾞﾙ・ 1968＝43歳：**＊"戦前"的な傾向は「太陽と鉄」でいっそう鮮明になり，｛楯の会｝を結成。「豊饒の海」第3巻。**
全共闘ﾋﾟｰｸ・1969＝44歳：「黒蜥蜴」「癩王のテラス」「若きサムライヒのために」。**_東大駒場で全共闘の学生たちと討論，本になる。**
大阪万博・・1970**＝45歳：＊「豊饒の海」の完結にいたる。自衛隊市谷駐屯地で隊員の決起をうながしたが果たさず，割腹自殺した。**

新潮日本文学アルバム，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，山田風太郎「人間臨終図巻」，「目でみる日本人物百科」，「100人の20世紀」，